(桜川市行政評価システム) 記入年月日 令和 4年度 事務事業評価表(令和 3年度 の実績評価) 平成 月 事業区分 事務事業名 不妊治療費助成事業 事務事業No. 010203000342 新規/継続 継続 政策体系上の位置付け 単独/補助 単独 040401 所属課 0102 |健康づくりの推進 ○1 |子どもから高齢者まで健康で共生のまちづくり 総合計画の施策名 健康推進課 課長名グループ 策 政策名 体 02 健康づくりの推進 健康づくり 施策名 03 ③母子支援体制の充実 系 手段名 担当者名 財務会計上の位置付け 期 業 会計 款 目 事業 細 一般会計 単年度繰返し (平成20 年度~) 予算科目 01 04 01 01 03 00 母子衛生事業 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入 法令根拠 母子保健法 事務事業の現状把握(その1) (Do) (1)事務事業の概要 ①事務事業の概要(事務事業の全体像) ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 □学物事未の(概多(事務事業の主体像)

少子化対策の一環として、不妊治療を受けている夫婦の経済的及び精神的負担の軽減を図ることを目的として、1回の治療につき5万円を限度に通算6回まで助成する。ただし、40歳から42歳の方は通算3回まで助成する。男性不妊治療も新たに令和元年度より開始した。また令和2年度より1回の治療につき、10万円に増額した。令和4年度から不妊治療が保険摘要となり、県の助成の終 申請者の相談対応・申請事務処理・申請者の台帳管理・助成金の支払 い・実績報告書の作成 了に伴い市の助成も終了となる。 (2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

(乙)事効争素の子段・利家・忌凶と合拍信		9						
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標	(活動量を表す指標)	単位	O2年度 (実績)	03年度 (実績)	O4年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)
	交付決定者数		人	20.00	25.00	10.00	0.00	0.00
申請者の相談対応・申請事務処理・申請者 の台帳管理・助成金の支払い・実績報告書				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
の作成				0.00	0.00	0.00	0,00	0.00
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標	(対象の大きさを表す指標	単位	O2年度 (実績)	03年度 (実績)	O4年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)
	申請者数		人	20.00	25.00	10.00	0.00	0.00
不妊治療を受けている夫婦				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標	(対象における意図の達成を表す指標)	^{茂度} 単位	02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)
	助成金交付者		人	20.00	25.00	10.00	0.00	0.00
対象者の経済的及び精神的負担の軽減を図 る。				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(3) 投入量(事業費)の推移	02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)		05年度 (目標)	06年度 (目標)		明間限定 総投入量
国庫支出金		0 0		0				

	(3)	- 427	(量(事業費)の推	#怒	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	期間限定
	(3)	1又7			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	総投入量
			国庫支出金	千円	0	0	0			
		財	県支出金	千円	0	0	0			
找	事	源	地方債	千円	0	0	0			
	業	内	使用料・手数料		0	0	0			
	費	訳	その他	千円	0	0	0			
7	\		一般財源	千円	1,572	4,016	3,350			
			『業費計(A)	千円	1,572	4,016	3,350			
1_		正:	規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人			
틀										
					実績(千円)			04年度事業費	予算(千円)	
	18	負担金	発補助及び交付金	4,016			18 負担金補助及び	交付金 3,350		
3	3									
美	₹									
す										
O.										
Þ										
=										
					A -1	16:3				0.553
L					計合	4,016			숨 計	3,350

					(桜川市行政評価システム)
事務事	業名 不妊治	台療費助成事業	事務事業No.	10203000342	所属課健康推進課
	務事業を開始した	きっかけは、いつ頃どんな経緯で	で開始されたのか? 開始時期ある		
					事業開始。助成額は5万円を限度に
					され、平成28年度から対象年齢に
)一環として経済的支援の拡充で、	令和元年度より男性不	妊も助成対象に追加。また令和2年
度より1回	の助成金額が上降	引0万円へ増額した。			
(5) この事務	8事業に対して関	係者(住民、議会、事業対象者、	利害関係者)からどんな意見や	要望が寄せられているた),5
不妊治療は	は保険適応外であり	0、1回の治療費に約30~60万	可用程度の金額がかかるため近隣で	5町村との金額の違いが	あるものの、補助があることは大
	の声が聞かれた。				
[See] 2.	評価の部	*原則は事前評価。			
1000, 2.	011m-> Cr	337313-3 1338 TIES	評価項目		
①政策体系	ぐとの整合性 (こ)	の事務事業の目的は市の政策体系に	に結びつくか?意図することが結果に	きびついているか?)	
© 25(5)((11 5))		333 3843 2831841 338811 3141		30 - 17 - 17 - 17	
現は話びつい	ハている	子育で支援及び小子化対策につ	oいて、経済面で結びついている。		
状	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,				
	ラの妥当性 (な	」 ザこの事業を市が行わなければならた	ふいのか?税金を投入して、達成する	日的か?)(法定受託事業	はその名称)
持	300X3H (A)				要になることによって助成と同等の補
妥当では	5.ろ				対象となるため申請者には手続きを行
23 0	-, -,	ある文() られる/とめ、 1 po/bb/			
③ 成果の回	白上余地 (成里)		見状水準とあるべき水準との差異はな	ハか?何が原因で成果向 F	が期待できないのか?)
(E) 1547K07	3_3,70 (MA)				
向上余均	也がない			双事業が終了となるため	、市の助成も終了とした。令和3年度
1-3 1-3/1	2.2.5.	中に治療を開始した者の申請の)み助成の対象とする。		
④廃止•休	はよの成果への影響	≌ (事務事業を廃止・休止した場a	今の影響の有無とその内容は?)		
有		THE OF TH			
効影響無		助成はなくなるが、保険摘要と	なるため影響は少ない。		
性		33771010 C C G G G C F F F F F F F F F F F F F F	3.00 3.00 3.00 10.0		
	きとの統廃合・連邦		可能性がありますか?(市以外の取り)組みも含む))	
	段がある場合)	具体的な手段、事務事業名	一切には、2000年10日本	7111107 011 07 7	
(1810.3	PX/3 07 Q3/3/01/	共产品(5) 段(李扬李朱昌			
余地がな	7.1.7	類似事業がないため、統廃合不	可である。		
3(20/3)	<u></u>	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	3 (2) 00		
⑥事業費・	人件書の削除金サ	」 也(成果を下げずに事業費を削除	できたいかりめり方をエキしてる	「八業経事業を削減でき	たいか?)
効	7 (11) (- 2 133 13 13 14				
		対象者にとっては、不妊治療助		する必要性がなくなる	ため、負担がなくなる。また支払い手
率削減余地		対象者にとっては、不妊治療助		する必要性がなくなる	
率 削減余量	也がない	対象者にとっては、不妊治療助 続きのための人件費がかからな	n成金支払いのための手続きに来たくなるため、人権費が削減できる	する必要性がなくなる る。	ため、負担がなくなる。また支払い手
率 削減余地	也がない	対象者にとっては、不妊治療助続きのための人件費がかからな 正化余地 (事業の内容が一部の例	n成金支払いのための手続きに来たくなるため、人権費が削減できる 受益者に偏っていて不公平ではないか	すする必要性がなくなる る。 ?受益者負担が公平・公正	ため、負担がなくなる。また支払い手になっているか?)
率 削減余地	也がない 会・費用負担の適	対象者にとっては、不妊治療助 続きのための人件費がかからな 正化余地 (事業の内容が一部の 保険摘要に伴い市の助成が終了	的成金支払いのための手続きに来たくなるため、人権費が削減できる 受益者に偏っていて不公平ではないか でなることをホームページで周9	すする必要性がなくなる る。 ?受益者負担が公平・公正	ため、負担がなくなる。また支払い手
率性 削減余地 公	也がない	対象者にとっては、不妊治療助続きのための人件費がかからな 正化余地 (事業の内容が一部の例	的成金支払いのための手続きに来たくなるため、人権費が削減できる 受益者に偏っていて不公平ではないか でなることをホームページで周9	すする必要性がなくなる る。 ?受益者負担が公平・公正	ため、負担がなくなる。また支払い手になっているか?)
平性 削減余数 公 ⑦ 受益機差 平性 公正・2	也がない 会・費用負担の適 公平である	対象者にとっては、不妊治療助続きのための人件費がかからな正化余地 (事業の内容が一部の 保険摘要に伴い市の助成が終了は、令和4年度中は申請を受け	的成金支払いのための手続きに来た なくなるため、人権費が削減できる 受益者に偏っていて不公平ではないか でとなることをホームページで周外付けることも周知している。	すする必要性がなくなる る。 ?受益者負担が公平・公正	ため、負担がなくなる。また支払い手になっているか?)
率性 削減余量 公 ⑦ 受益機差 平性 公正・2 【Plan】 3	也がない 会・費用負担の適公平である 、評価結果の総括	対象者にとっては、不妊治療助続きのための人件費がかからな正化余地 (事業の内容が一部の関係) 保険摘要に伴い市の助成が終了は、令和4年度中は申請を受けると今後の方向性(次年度計画と	的成金支払いのための手続きに来た なくなるため、人権費が削減できる 受益者に偏っていて不公平ではないか でとなることをホームページで周り 付けることも周知している。 予算への反映)	する必要性がなくなる る。 ?受益者負担が公平・公正 Oしている。また、R3:	ため、負担がなくなる。また支払い手になっているか?)
率性 削減余量 公 ⑦ 受益機差 平性 公正・2 【Plan】 3	也がない 会・費用負担の適 公平である	対象者にとっては、不妊治療助続きのための人件費がかからな正化余地 (事業の内容が一部の関係) 保険摘要に伴い市の助成が終了は、令和4年度中は申請を受けると今後の方向性(次年度計画と	加成金支払いのための手続きに来たくなるため、人権費が削減できるを益者に偏っていて不公平ではないかであることをホームページで周知付けることも周知している。 「多算への反映」 「2) 全体総括(振り返り	rする必要性がなくなる る。 ?受益者負担が公平・公正 Oしている。また、R3: O、反省点)	ため、負担がなくなる。また支払い手 になっているか?) 年度中に治療を開始した者について
平性 削減余式 (1) 1次	也がない 会・費用負担の適 公平である . 評価結果の総括 評価者としての評	対象者にとっては、不妊治療助 続きのための人件費がかからな 正化余地 (事業の内容が一部の 保険摘要に伴い市の助成が終了 は、令和4年度中は申請を受け をと今後の方向性(次年度計画と 価結果	加成金支払いのための手続きに来たくなるため、人権費が削減できるを基者に偏っていて不公平ではないかったなることをホームページで周知け付けることも周知している。 予算への反映) (2) 全体総括(振り返り 助成事業開始時期に比べる。	する必要性がなくなるる。 ?受益者負担が公平・公正 ①している。また、R3: ②、反省点) と、事業の主旨が浸透し	ため、負担がなくなる。また支払い手になっているか?) 年度中に治療を開始した者について アできており、申請者数・妊娠者数・出
平性 削減余計 公 ⑦ 受益機差 性 ②正・2 性 ②1) 1 次記 ①目的妥当	也がない 会・費用負担の適公平である 、評価結果の総括 評価者としての評 性 ■ 適切	対象者にとっては、不妊治療助続きのための人件費がかからな正化余地 (事業の内容が一部の受保険摘要に伴い市の助成が終了は、令和4年度中は申請を受けると今後の方向性(次年度計画と任価結果	加成金支払いのための手続きに来たくなるため、人権費が削減できるを基者に偏っていて不公平ではないかったなることをホームページで周続け付けることも周知している。 「予算への反映」 (2) 全体総括(振り返 助成事業開始時期に比べる。 産者数共に増加傾向にある。	する必要性がなくなる る。 ?受益者負担が公平・公正 ①している。また、R3: ②、反省点》 と、事業の主旨が浸透し 令和4年度より不妊治	ため、負担がなくなる。また支払い手になっているか?) 年度中に治療を開始した者について のできており、申請者数・妊娠者数・出 治療が保険摘要となるため、それに伴い
平性 削減余計 (1) (2) (2) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	也がない 会・費用負担の適 公平である . 評価結果の総括 評価者としての評 性 ■ 適切 適切	対象者にとっては、不妊治療助続きのための人件費がかからな正化余地 (事業の内容が一部の残保険摘要に伴い市の助成が終了は、令和4年度中は申請を受けると今後の方向性(次年度計画とで価結果) 「見直し余地あり見直し余地あり	加成金支払いのための手続きに来たくなるため、人権費が削減できるを基者に偏っていて不公平ではないかったなることをホームページで周続け付けることも周知している。 「予算への反映」 (2) 全体総括(振り返 助成事業開始時期に比べる。 産者数共に増加傾向にある。	デする必要性がなくなる る。 ?受益者負担が公平・公正 ①している。また、R3: ②、反省点》 と、事業の主旨が浸透し 令和4年度より不妊治 令和3年度中に治療を	ため、負担がなくなる。また支払い手になっているか?) 年度中に治療を開始した者について アできており、申請者数・妊娠者数・出
平性 削減余が 公平性	也がない 会・費用負担の適公平である ・評価結果の総括 評価者としての評 性 ■ 適切	対象者にとっては、不妊治療助続きのための人件費がかからな正化余地 (事業の内容が一部の残保険摘要に伴い市の助成が終了は、令和4年度中は申請を受けると今後の方向性(次年度計画と呼価結果	加成金支払いのための手続きに来た なくなるため、人権費が削減できる を基者に偏っていて不公平ではないか でとなることをホームページで周続 付けることも周知している。 「予算への反映」 (2) 全体総括(振り返 助成事業開始時期に比べる。 産者数共に増加傾向にある。 市の助成事業も終了となる。	デする必要性がなくなる る。 ?受益者負担が公平・公正 ①している。また、R3: ②、反省点》 と、事業の主旨が浸透し 令和4年度より不妊治 令和3年度中に治療を	ため、負担がなくなる。また支払い手になっているか?) 年度中に治療を開始した者について のできており、申請者数・妊娠者数・出 治療が保険摘要となるため、それに伴い
平性 削減余計 (1) (2) (2) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	也がない 会・費用負担の適 公平である . 評価結果の総括 評価者としての評 性 ■ 適切 適切	対象者にとっては、不妊治療助続きのための人件費がかからな正化余地 (事業の内容が一部の残保険摘要に伴い市の助成が終了は、令和4年度中は申請を受けると今後の方向性(次年度計画とで価結果) 「見直し余地あり見直し余地あり	加成金支払いのための手続きに来た なくなるため、人権費が削減できる を基者に偏っていて不公平ではないか でとなることをホームページで周続 付けることも周知している。 「予算への反映」 (2) 全体総括(振り返 助成事業開始時期に比べる。 産者数共に増加傾向にある。 市の助成事業も終了となる。	デする必要性がなくなる る。 ?受益者負担が公平・公正 ①している。また、R3: ②、反省点》 と、事業の主旨が浸透し 令和4年度より不妊治 令和3年度中に治療を	ため、負担がなくなる。また支払い手になっているか?) 年度中に治療を開始した者について のできており、申請者数・妊娠者数・出 治療が保険摘要となるため、それに伴い
平性 削減余計	也がない 会・費用負担の適 公平である ・評価結果の総括 評価者としての評 性 ■ 適切	対象者にとっては、不妊治療助続きのための人件費がかからな正化余地 (事業の内容が一部の残保険摘要に伴い市の助成が終了は、令和4年度中は申請を受けると今後の方向性(次年度計画と呼価結果	加成金支払いのための手続きに来た なくなるため、人権費が削減できる を基者に偏っていて不公平ではないか でとなることをホームページで周続 付けることも周知している。 「予算への反映」 (2) 全体総括(振り返 助成事業開始時期に比べる。 産者数共に増加傾向にある。 市の助成事業も終了となる。	デする必要性がなくなる る。 ?受益者負担が公平・公正 ①している。また、R3: ②、反省点》 と、事業の主旨が浸透し 令和4年度より不妊治 令和3年度中に治療を	ため、負担がなくなる。また支払い手になっているか?) 年度中に治療を開始した者について できており、申請者数・妊娠者数・出 治療が保険摘要となるため、それに伴い 開始した者については、助成の対象と
平性 削減余が 公平性	也がない 会・費用負担の適 公平である ・評価結果の総括 評価者としての評 性 ■ 適切	対象者にとっては、不妊治療助続きのための人件費がかからな正化余地 (事業の内容が一部の残保険摘要に伴い市の助成が終了は、令和4年度中は申請を受けると今後の方向性(次年度計画と呼価結果	加成金支払いのための手続きに来たくなるため、人権費が削減できるをなったの、人権費が削減できるとをホームページで周が付けることも周知している。 「予算への反映」 (2) 全体総括(振り返りの、事業開始時期に比べる、産者数共に増加傾向にある。市の助成事業も終了となる。なるため申請があった者に	デする必要性がなくなる る。 ?受益者負担が公平・公正 ①している。また、R3: ②、反省点》 と、事業の主旨が浸透し 令和4年度より不妊治 令和3年度中に治療を	ため、負担がなくなる。また支払い手になっているか?) 年度中に治療を開始した者について いてきており、申請者数・妊娠者数・出 治療が保険摘要となるため、それに伴い 開始した者については、助成の対象と
平性 削減余計 (分) 受益機 (分) で 受益機 (分) で で (力) で	也がない 会・費用負担の適 公平である ・評価結果の総括 評価者としての評 性 ■ 適切 □ 適切 ■ 適切 事業の方向性	対象者にとっては、不妊治療助続きのための人件費がかからな正化余地 (事業の内容が一部の受保険摘要に伴い市の助成が終了は、令和4年度中は申請を受ける、令の方向性(次年度計画と任価結果) 「見直し余地あり」 「見直し余地あり」 「見直し余地あり」 「見直し余地あり」 「見直し余地あり」 「見直し余地あり」	加成金支払いのための手続きに来たくなるため、人権費が削減できるをなったの、人権費が削減できるとをホームページで周知付けることも周知している。 「本のではないか」(2)全体総括(振り返りの表別を対している。 「本のではないか」(2)全体総括(振り返りの表別を対している。 「本のではないか」(2)をは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般で	テする必要性がなくなる。	ため、負担がなくなる。また支払い手になっているか?) 年度中に治療を開始した者について できており、申請者数・妊娠者数・出 治療が保険摘要となるため、それに伴い 開始した者については、助成の対象と
平性 削減余計	也がない 会・費用負担の適 公平である ・評価結果の総括 評価者としての評 性 ■ 適切 □ 適切 ■ 適切 事業の方向性	対象者にとっては、不妊治療助続きのための人件費がかからな正化余地 (事業の内容が一部の残保険摘要に伴い市の助成が終了は、令和4年度中は申請を受けると今後の方向性(次年度計画と呼価結果	加成金支払いのための手続きに来たくなるため、人権費が削減できるをなるため、人権費が削減できるとをホームページで周が付けることも周知している。 「予算への反映) (2) 全体総括(振り返りの大きをでは、一般のでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	テする必要性がなくなる。	ため、負担がなくなる。また支払い手になっているか?) 年度中に治療を開始した者について できており、申請者数・妊娠者数・出急療が保険摘要となるため、それに伴いに開始した者については、助成の対象と (4) 改革・改善による期待成果(終了・廃止・休止の場合は記入不要)
平性 削減余計	也がない 会・費用負担の適公平である ・評価結果の総括 評価者としての評 性 ■ 適切 回 適切 回 適切 ■ 適切 ■ 選切 ■ 機続	対象者にとっては、不妊治療的 続きのための人件費がかからな 正化余地 (事業の内容が一部の 保険摘要に伴い市の助成が終了 は、令和4年度中は申請を受け と今後の方向性(次年度計画と 価結果 □ 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり	加成金支払いのための手続きに来たくなるため、人権費が削減できるをなるため、人権費が削減できるを基金に偏っていて不公平ではないかったなることをホームページで周知付けることも周知している。予算への反映) (2) 全体総括(振り返りのよりを発表している。産者数共に増加傾向にある。市の助成事業も終了となる。なるため申請があった者に、でも数回答可) (複数回答可) (複数回答可) 目的の再設定 有効性の改善	テする必要性がなくなる。	ため、負担がなくなる。また支払い手になっているか?) 年度中に治療を開始した者について できており、申請者数・妊娠者数・出 治療が保険摘要となるため、それに伴い 開始した者については、助成の対象と (4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)
平性 削減余計 (分) 受益機 (分) で 受益機 (分) で で (力) で	也がない 会・費用負担の適公平である ・評価結果の総括 評価者としての評 性 ■ 適切 回 適切 回 適切 ■ 適切 ■ 選切 ■ 機続	対象者にとっては、不妊治療助続きのための人件費がかからな正化余地 (事業の内容が一部の受保険摘要に伴い市の助成が終了は、令和4年度中は申請を受ける、令の方向性(次年度計画と任価結果) 「見直し余地あり」 「見直し余地あり」 「見直し余地あり」 「見直し余地あり」 「見直し余地あり」 「見直し余地あり」	加成金支払いのための手続きに来たくなるため、人権費が削減できるをなるため、人権費が削減できるとをホームページで周が付けることも周知している。 「予算への反映) (2) 全体総括(振り返りの大きをでは、一般のでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	テする必要性がなくなる。	になっているか?) 年度中に治療を開始した者について できており、申請者数・妊娠者数・出 治療が保険摘要となるため、それに伴い に開始した者については、助成の対象と (4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加
 率性 ① 受益機会 ② できる ② (1) 1次 ① 目的妥当(2有効性(3) 今後の事件(4)公平性 ③ (3) 今後の事件(4)公平性 	世がない 会・費用負担の適公平である ・評価結果の総請 評価者としての 調 性 ・ 適切切 ・ 適切切 ・ 適切切 ・ 適切切 ・ 機続 ・	対象者にとっては、不妊治療助続きのための人件費がかからな正化余地 (事業の内容が一部の残保険摘要に伴い市の助成が終了は、令和4年度中は申請を受ける。令後の方向性(次年度計画と呼価結果	の成金支払いのための手続きに来たくなるため、人権費が削減できるとなることをホームページで周が付けることも周知している。 「予算への反映) (2) 全体総括(振り返り は、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のできる。 「「できる」となる。 「できる」となる。 「できる」となる。 「できる」となる。 「できる」となる。 「できる」となる。 「できる」となる。 「できる」となる。 「できる」となる。 「できる」となる。 「なるため申請があった者に、」 「後数回答可) 「自めの再設定」を表現している。 「ののできる」に、 「ののできる。」に、 「ののできる。」に	テする必要性がなくなる。	ため、負担がなくなる。また支払い手になっているか?) 年度中に治療を開始した者について できており、申請者数・妊娠者数・出 治療が保険摘要となるため、それに伴い 開始した者については、助成の対象と (4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)
平性 削減余計	世がない 会・費用負担の適公平である ・評価結果の総括 評価者としての 調 適切 ■ 適切切 ■ 適切切 ■ 減切切切切 ■ 減切切切切切 ■ 減減切	対象者にとっては、不妊治療助続きのための人件費がかからな正化余地 (事業の内容が一部の受保険摘要に伴い市の助成が終了は、令和4年度中は申請を受けると今後の方向性(次年度計画と呼価結果	加成金支払いのための手続きに来たくなるため、人権費が削減できるをなっため、人権費が削減できるとをおったのではないかっている。となることをホームページで周が付けることも周知している。 「予算への反映) 「(2)全体総括(振り返りの事業開始時期に比べる。を者数共に増加傾向にある。市の助成事業も終了となる。である。なるため申請があった者に「後数回答可」 「ものの再設定」有効性の改善「加速を持ちます」 「後数回答す」 「の解決策	テする必要性がなくなる。	になっているか?) 年度中に治療を開始した者について できており、申請者数・妊娠者数・出 療が保険摘要となるため、それに伴い 開始した者については、助成の対象と (4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 しませ、維
平性 削減余計	世がない 会・費用負担の適公平である ・評価結果の総括 評価者としての 調 適切 ■ 適切切 ■ 適切切 ■ 減切切切切 ■ 減切切切切切 ■ 減減切	対象者にとっては、不妊治療助続きのための人件費がかからな正化余地 (事業の内容が一部の残保険摘要に伴い市の助成が終了は、令和4年度中は申請を受ける、令和6年度中は申請を受ける。 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 現直し余地あり 現直し余地あり 見ずいません。	加成金支払いのための手続きに来たくなるため、人権費が削減できるをなっため、人権費が削減できるとをおったのではないかっている。となることをホームページで周が付けることも周知している。 「予算への反映) 「(2)全体総括(振り返りの事業開始時期に比べる。を者数共に増加傾向にある。市の助成事業も終了となる。である。なるため申請があった者に「後数回答可」 「ものの再設定」有効性の改善「加速を持ちます」 「後数回答す」 「の解決策	テする必要性がなくなる。	ため、負担がなくなる。また支払い手になっているか?) 年度中に治療を開始した者について できており、申請者数・妊娠者数・出 療が保険摘要となるため、それに伴い。 開始した者については、助成の対象と (4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) り に終す、検上の場合は記入不要) り に終す、検上の場合は記入不要)
平性 削減余計	世がない 会・費用負担の適公平である ・評価結果の総括 評価者としての 調 適切 ■ 適切切 ■ 適切切 ■ 減切切切切 ■ 減切切切切切 ■ 減減切	対象者にとっては、不妊治療助続きのための人件費がかからな正化余地 (事業の内容が一部の受保険摘要に伴い市の助成が終了は、令和4年度中は申請を受けると今後の方向性(次年度計画と呼価結果	加成金支払いのための手続きに来たくなるため、人権費が削減できるをなっため、人権費が削減できるとをおったのではないかっている。となることをホームページで周が付けることも周知している。 「予算への反映) 「(2)全体総括(振り返りの事業開始時期に比べる。を者数共に増加傾向にある。市の助成事業も終了となる。である。なるため申請があった者に「後数回答可」 「ものの再設定」有効性の改善「加速を持ちます」 「後数回答す」 「の解決策	テする必要性がなくなる。	ため、負担がなくなる。また支払い手になっているか?) 年度中に治療を開始した者について てきており、申請者数・妊娠者数・出療が保険摘要となるため、それに伴い。開始した者については、助成の対象と (4) 改革・改善による期待成果(終了・廃止・休止の場合は記入不要) 「利減・維持・増加・上成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
平性 削減余計	世がない 会・費用負担の適公平である ・評価結果の総括 評価者としての 調 適切 ■ 適切切 ■ 適切切 ■ 減切切切切 ■ 減切切切切切 ■ 減減切	対象者にとっては、不妊治療助続きのための人件費がかからな正化余地 (事業の内容が一部の受保険摘要に伴い市の助成が終了は、令和4年度中は申請を受けると今後の方向性(次年度計画と呼価結果	加成金支払いのための手続きに来たくなるため、人権費が削減できるをなっため、人権費が削減できるとをおったのではないかっている。となることをホームページで周が付けることも周知している。 「予算への反映) 「(2)全体総括(振り返りの事業開始時期に比べる。を者数共に増加傾向にある。市の助成事業も終了となる。である。なるため申請があった者に「後数回答可」 「ものの再設定」有効性の改善「加速を持ちます」 「後数回答す」 「の解決策	テする必要性がなくなる。	ため、負担がなくなる。また支払い手になっているか?) 年度中に治療を開始した者について できており、申請者数・妊娠者数・出 療が保険摘要となるため、それに伴い。 開始した者については、助成の対象と (4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) り に終す、検上の場合は記入不要) り に終す、検上の場合は記入不要)
平性 削減余計	世がない 会・費用負担の適公平である ・評価結果の総括 評価者としての 調 適切 ■ 適切切 ■ 適切切 ■ 減切切切切 ■ 減切切切切切 ■ 減減切	対象者にとっては、不妊治療助続きのための人件費がかからな正化余地 (事業の内容が一部の受保険摘要に伴い市の助成が終了は、令和4年度中は申請を受けると今後の方向性(次年度計画と呼価結果	加成金支払いのための手続きに来たくなるため、人権費が削減できるをなっため、人権費が削減できるとをおったのではないかっている。となることをホームページで周が付けることも周知している。 「予算への反映) 「(2)全体総括(振り返りの事業開始時期に比べる。を者数共に増加傾向にある。市の助成事業も終了となる。である。なるため申請があった者に「後数回答可」 「ものの再設定」有効性の改善「加速を持ちます」 「後数回答す」 「の解決策	テする必要性がなくなる。	になっているか?) 年度中に治療を開始した者について できており、申請者数・妊娠者数・出療が保険摘要となるため、それに伴いに開始した者については、助成の対象と (4) 改革・改善による期待成果(終了・廃止・休止の場合は記入不要) 「ストーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー
平性 削減余計	世がない 会・費用負担の適公平である ・評価結果の総括 評価者としての 調 適切 ■ 適切切 ■ 適切切 ■ 減切切切切 ■ 減切切切切切 ■ 減減切	対象者にとっては、不妊治療助続きのための人件費がかからな正化余地 (事業の内容が一部の受保険摘要に伴い市の助成が終了は、令和4年度中は申請を受けると今後の方向性(次年度計画と呼価結果	加成金支払いのための手続きに来たくなるため、人権費が削減できるをなっため、人権費が削減できるとをおったのではないかっている。となることをホームページで周が付けることも周知している。 「予算への反映) 「(2)全体総括(振り返りの事業開始時期に比べる。を者数共に増加傾向にある。市の助成事業も終了となる。である。なるため申請があった者に「後数回答可」 「ものの再設定」有効性の改善「加速を持ちます」 「後数回答す」 「の解決策	テする必要性がなくなる。	になっているか?) 年度中に治療を開始した者について 「できており、申請者数・妊娠者数・出 意が保険摘要となるため、それに伴い。で開始した者については、助成の対象と 「(4)改革・改善による期待成果(終了・廃止・休止の場合は記入不要) 「ストー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
平性 削減余計	世がない 会・費用負担の適公平である ・評価結果の総括 評価者としての 調 適切 ■ 適切切 ■ 適切切 ■ 減切切切切 ■ 減切切切切切 ■ 減減切	対象者にとっては、不妊治療助続きのための人件費がかからな正化余地 (事業の内容が一部の受保険摘要に伴い市の助成が終了は、令和4年度中は申請を受けると今後の方向性(次年度計画と呼価結果	加成金支払いのための手続きに来たくなるため、人権費が削減できるをなっため、人権費が削減できるとをおったのではないかっている。となることをホームページで周が付けることも周知している。 「予算への反映) 「(2)全体総括(振り返りの事業開始時期に比べる。を者数共に増加傾向にある。市の助成事業も終了となる。である。なるため申請があった者に「後数回答可」 「ものの再設定」有効性の改善「加速を持ちます」 「後数回答す」 「の解決策	テする必要性がなくなる。	になっているか?) 年度中に治療を開始した者について できており、申請者数・妊娠者数・出療が保険摘要となるため、それに伴いに開始した者については、助成の対象と (4)改革・改善による期待成果(終了・廃止・休止の場合は記入不要) 「人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人
率性 削減余計 公平性 ⑦ 受益機会 【公正・2 【Plan】 3 (1) 1次 ① 目的数性 ③ 効率性 ④公平性 (3) 今後の調 □ 終了 □ 廃止 (5) 改革	世がない 会・費用負担の適公平である ・評価結果の総括 評価者としての 調 適切 ■ 適切切 ■ 適切切 ■ 減切切切切 ■ 減切切切切切 ■ 減減切	対象者にとっては、不妊治療助続きのための人件費がかからな正化余地 (事業の内容が一部の受保険摘要に伴い市の助成が終了は、令和4年度中は申請を受けると今後の方向性(次年度計画と呼価結果	加成金支払いのための手続きに来たくなるため、人権費が削減できるをなっため、人権費が削減できるとをおったのではないかっている。となることをホームページで周が付けることも周知している。 「予算への反映) 「(2)全体総括(振り返りの事業開始時期に比べる。を者数共に増加傾向にある。市の助成事業も終了となる。である。なるため申請があった者に「後数回答可」 「ものの再設定」有効性の改善「加速を持ちます」 「後数回答す」 「の解決策	テする必要性がなくなる。	になっているか?) 年度中に治療を開始した者について 「できており、申請者数・妊娠者数・出 意が保険摘要となるため、それに伴い。で開始した者については、助成の対象と 「(4)改革・改善による期待成果(終了・廃止・休止の場合は記入不要) 「ストー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
率性 削減余計	世がない 会・費用負担の適公平である ・評価結果の総括評価者としての評価 適切切切切切切切切り 画 適切切り の適切 原業の方向性 ■ 継続 □ 休止 。 改善を実現する	対象者にとっては、不妊治療助続きのための人件費がかからな正化余地 (事業の内容が一部の受保険摘要に伴い市の助成が終了は、令和4年度中は申請を受ける。令後の方向性(次年度計画と任価結果	加成金支払いのための手続きに来たくなるため、人権費が削減できるをなっため、人権費が削減できるとをおったのではないかっている。となることをホームページで周が付けることも周知している。 「予算への反映) 「(2)全体総括(振り返りの事業開始時期に比べる。を者数共に増加傾向にある。市の助成事業も終了となる。である。なるため申請があった者に「後数回答可」 「ものの再設定」有効性の改善「加速を持ちます」 「後数回答す」 「の解決策	テする必要性がなくなる。	になっているか?) 年度中に治療を開始した者について できており、申請者数・妊娠者数・出療が保険摘要となるため、それに伴いに開始した者については、助成の対象と (4)改革・改善による期待成果(終了・廃止・休止の場合は記入不要) 「人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人
率性 削減余計 公平性 ② 受益機会 【公正・2 【Plan】 3 (1) 1次 ① 自め効性 ③ 効率性 ④公平性 (3) 今後の引 □ 終了 □ 廃止 (5) 改革、 令和4年度から 【Check】	世がない 会・費用負担の適公平である ・評価結果の総括 評価者としての割 性 ■ 適切切切切切切切切切切切切切切切切切切切のの適のの方向性 ■ 継続 ・ □ 休止 ・ 改善を実現する らの不妊治療の保	対象者にとっては、不妊治療助続きのための人件費がかからな正化余地 (事業の内容が一部の受保険摘要に伴い市の助成が終了は、令和4年度中は申請を受けると今後の方向性(次年度計画と呼価結果	の成金支払いのための手続きに来たくなるため、人権費が削減できるをなっため、人権費が削減できるとなった。 であることをホームページで周知が付けることも周知している。 では、 一切のでは、 一切のできる。 「のが、 一切のできる。 「のが、 一切のできる。 「のが、 一切のが、 一切のできる。 「のが、 一切のが、 一切のが、 一切のが、 一切のできる。 「のが、 一切のが、 一切のが、 一切のが、 一切のが、 一切のが、 一切のが、 一切のが、 一切ので、 一切のが、 一切が、 一切のが、 一切のが	テする必要性がなくなる。	ため、負担がなくなる。また支払い手になっているか?) 年度中に治療を開始した者について できており、申請者数・妊娠者数・出療が保険摘要となるため、それに伴い。開始した者については、助成の対象と (4) 改革・改善による期待成果(終了・廃止・休止の場合は記入不要) 「人権」は、
平性 削減余計	世がない 会・費用負担の適公平である ・評価結果の総括 評価者としての評価 性 ■ 適切切切 ■ 適切切切 ■ 適切切切 ■ である ・ 評価をしての評価 ・ ■ 総続・ □ 休止・ 改善を実現する ・ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	対象者にとっては、不妊治療助続きのための人件費がかからな正化余地 (事業の内容が一部の受保険摘要に伴い市の助成が終了は、令和4年度中は申請を受ける。令後の方向性(次年度計画と任価結果	加成金支払いのための手続きに来たくなるため、人権費が削減できるをなっため、人権費が削減できるとをおったのではないかっている。となることをホームページで周が付けることも周知している。 「予算への反映) 「(2)全体総括(振り返りの事業開始時期に比べる。を者数共に増加傾向にある。市の助成事業も終了となる。である。なるため申請があった者に「後数回答可」 「ものの再設定」有効性の改善「加速を持ちます」 「後数回答す」 「の解決策	テする必要性がなくなる。	になっているか?) 年度中に治療を開始した者について できており、申請者数・妊娠者数・出療が保険摘要となるため、それに伴いに開始した者については、助成の対象と (4)改革・改善による期待成果(終了・廃止・休止の場合は記入不要) 「人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人
率性 削減余計 公平性 ② 受益機会 【公正・2 【Plan】 3 (1) 1次 ① 自め効性 ③ 効率性 ④公平性 (3) 今後の引 □ 終了 □ 廃止 (5) 改革、 令和4年度から 【Check】	世がない 会・費用負担の適公平である ・評価結果の総括 評価者としての評価 性 ■ 適切切切 ■ 適切切切 ■ 適切切切 ■ である ・ 評価をしての評価 ・ ■ 総続・ □ 休止・ 改善を実現する ・ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	対象者にとっては、不妊治療助続きのための人件費がかからな正化余地 (事業の内容が一部の受保険摘要に伴い市の助成が終了は、令和4年度中は申請を受ける。令後の方向性(次年度計画と任価結果	加成金支払いのための手続きに来所なくなるため、人権費が削減できるをなっため、人権費が削減できるとをホームページで周が付けることも周知している。 「予算への反映) (2) 全体総括(振り返りの反映) (2) 全体総括(振り返りのは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のできる。なるため申請があった者に、1000円の改善し、統廃合ができる。 (複数回答可) (複数回答可) (複数回答可) (複数回答可) (複数回答可) (有効性の改善。 の解決策 こなり市の助成も終了とする。	テする必要性がなくなる。	ため、負担がなくなる。また支払い手になっているか?) 年度中に治療を開始した者について できており、申請者数・妊娠者数・出療が保険摘要となるため、それに伴い。開始した者については、助成の対象と (4) 改革・改善による期待成果(終了・廃止・休止の場合は記入不要) 「人権」は、
平性 削減余が	世がない 会・費用負担の適公平である ・評価結果の総括 評価者としての評価 性 ■ 適切切切 ■ 適切切切 ■ 適切切切 ■ である ・ 評価をしての評価 ・ ■ 総続・ □ 休止・ 改善を実現する ・ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	対象者にとっては、不妊治療助続きのための人件費がかからな正化余地 (事業の内容が一部の登保険摘要に伴い市の助成が終了は、令和4年度中は申請を受ける。令後の方向性(次年度計画ときを)とう後の方向性(次年度計画ときを)とう後の方向性(次年度計画ときを)とう後の方向性(次年度計画ときを)とう後の方向性(次年度計画ときを)とう後の方向性(次年度計画ときを)とう後の方向性(次年度計画ときを)とう後の方向性(次年度計画ときを)とう後の方向性(次年度計画ときを)とう後の方向性(次年度計画ときを)とう後の方向性(次年度計画ときを)とう後の方向性(次年度計画ときを)とうを)とうない。	加成金支払いのための手続きに来所なくなるため、人権費が削減できるをなっため、人権費が削減できるとをホームページで周が付けることも周知している。 「予算への反映) (2) 全体総括(振り返りの反映) (2) 全体総括(振り返りのはまでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のできる。なるため申請があった者に、100円のの再設定では、100円の改善できる。100円のの再設定では、100円ののできる。100円のの再設定できる。100円ののできる。100円のできる。100円のできる。100円のできる。100円のできる。100円決策となり市の助成も終了とする。100円決策となり市の助成も終了とする。100円のできる。100円ののできる。100円ののできる。100円のできる。100	テする必要性がなくなる。	ため、負担がなくなる。また支払い手になっているか?) 年度中に治療を開始した者について できており、申請者数・妊娠者数・出療が保険摘要となるため、それに伴い。開始した者については、助成の対象と (4) 改革・改善による期待成果(終了・廃止・休止の場合は記入不要) 「人権」は、